

「広がれ！環境の輪」

長崎市立高尾小学校 5年 黒川 海空

今年六月、私の教室にクーラーがついた。こんなにすずしい環境で快適に勉強ができるなんて幸せだ。なぜ、クーラーがついたのか、基準温度をこえたからだ。とにかく、夏の教室は暑い。そう、日本の夏は暑いのだ。父は「昔はこんなに暑くなかったぞ。せん風機で一日中すごすことがほとんどだったぞ。」と言う。ぜいたく品だったらしい。そんなクーラーが学校につくということは、地球に何か変化がおきているのだろうと思った。

そこで、調べてみると、地球温暖化の原因の、温室効果ガスが関係しているらしい。温室効果ガスがふえると、太陽の熱が逃げにくくなってしまうのだ。温室効果ガスはなぜふえたのか。それは、なんと人間の生活と深く関わっているのだ。二酸化炭素が温室効果ガスのほとんどをしめている。人間は二酸化炭素を出してしまう生活をしている。例えば、車の使用、プラスチック製品のぞう加、森林ばっさい、電化製品の使用などだ。石炭や石油などを燃やすことで、二酸化炭素が発生してしまう。エアコン、テレビ、冷ぞう庫、自動車などにより便利になればなるほど二酸化炭素がふえてしまう。これでは地球温暖化は止まりそうにない。温暖化が進むと、異常気象や水の減少、生物の絶めつなど大変なことになってしまう。今年の夏は、大雨が続いた。今年の夏の暑さ、台風の異常発生などもうすでに地球に異変が起きているように思う。まるで、地球が泣いているようだ。

そこで、どうしたら、地球温暖化を止めることができるか考えた。キーワードは、『みんな』だ。エアコンの温度をひかえめにしたり、電気をつけっぱなしにしない、ちょっとのきよりは歩く、レジ袋は使わない、ゴミはなるべく出さないようにする。一人一人の小さな努力の積み重ねで、少しずつ良くなっていくと思う。『みんな』取り組むことが大切だ。そして、もう一つの『みんな』の意味は、世界中の人々を指している。世界中のみんなが地球について考えることが必要だ。そのためにまず、国と国が仲良くならなければいけないと思う。自然環境などについて共に考え、共に学び、共に行動することが地球を守ることにつながる。

長崎には、「長崎県未来につながる環境を守り育てる条例」がある。大人の方たちが真剣に考え、取り組んでくださっていることを知り嬉しく感じた。地域の取り組みから大きな輪が広がってほしい。『みんな』一緒に。